

改革推進本部名	各部入賞区分
総合政策部	代表

※ 各部入賞区分は、各部代表提案は「代表」、努力提案は「○」、キラリ賞推薦提案は「キラリ」と書く。

平成30年度 改善実績提案報告書

提案名	久留米市人口移動調査の制度導入及び人口移動調査票の簡略化		
所属 (課名とチーム名・グループ名)	総合政策部総合政策課 市民文化部市民課 各市民センター 各総合支所市民福祉課	代表者	総合政策課 総合政策チーム 金納 雅彦【入庁11年目】 市民課 住民記録チーム 渡邊 しのぶ【入庁10年目】

ココが変わった！！ 改善内容

こんな問題がありました【改善前の問題点】	➡	こう変えました【改善による変更点】
<p>(1) 人口移動調査の制度導入について</p> <p>【現状】第3次基本計画では、人口30万5千人の維持を目標設定しているが、29年度に減少局面(前年同月比)に突入し、人口は305,581人(前年同月比▲630人)となった。</p> <p>【課題】人口動向について、移動の要因を分析するための十分なデータが揃う環境がなく、政策の適正な評価やPDCAサイクルが機能していない等の課題を抱えていた。</p> <p>(2) 人口移動調査票の簡略化による市民負担の軽減について</p> <p>【現状】人口移動調査の開始にあたり、調査票については、個人情報保護の点、予算面等において課題が残り、異動届とは別様の、任意の調査票により運用を開始した。</p> <p>【課題】住民異動届とは別に、改めて属性(生年月日・性別・新旧住所)等を尋ねる(記入する)必要があり、市民の窓口手続きの負担増、及び窓口事務の煩雑化につながっていた。</p>		<p>(1) 要因分析のためのデータ入手環境を整備し、社会環境の変化や市民ニーズを施策へ反映させる仕組みを構築するため、「人口移動調査」を新たな制度として導入し、移動状況の実態を把握する。また、集計結果を分析(月単位で分析)のうえ、市人口の推計資料を得るとともに、各部局へフィードバック(庁内の共有化)することで政策立案に活用する。</p> <p>(2) 10月1日から、複写式での人口移動調査票(住民異動届の3枚目)を準備し、属性等の記入が不要な新様式の運用を開始した。</p>

アピールポイント【改善による効果】

<p>提案ジャンル(複数選択可)</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度の向上 <input type="checkbox"/> 連携・協働による成果 <input type="checkbox"/> 収入増・コスト削減 <input checked="" type="checkbox"/> 事務の正確化・効率化 <input type="checkbox"/> 市の魅力向上 <input type="checkbox"/> 安全性の向上 <input type="checkbox"/> 職場の雰囲気向上 <input type="checkbox"/> その他() 	<p>改善の視点(一つを選択)</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 簡素化 <input type="checkbox"/> 集約化 <input type="checkbox"/> 共有化 <input type="checkbox"/> ICT化 <input checked="" type="checkbox"/> その他(政策立案機能強化) 	<p>(1) 人口動向について、これまでの「数の把握」に加えて「移動理由」を踏まえた分析が可能となったことで、人口の変動要因や市の政策効果の「見える化」を図ることが出来た。また、各種行政事務の基礎資料として政策企画面におけるPDCAサイクルの機能強化を図ることが出来た。</p> <p>(2) 調査票の集約化を図り、制度運用上の課題であった市民の窓口手続きの負担感、及び窓口事務の煩雑化を大幅に解消することができた。また、データの精度(信頼性)を左右する回収率については、これまでの43%(4ヶ月平均)から80%(平成30年10月)へと上昇した。</p>
---	--	---

【数字でみる効果】	<p>コストの削減、歳入の増等(円/年)、利用者等の増等(人/年)、省力化(時間/年)など</p> <p>(1) 人口動向について、数の把握のみで分析が不可能(推測レベル)な状態 ⇒客観的データの分析に基づく、政策効果の説明責任を果たせる状態</p> <p>(2) ①新調票作成にともなう印刷製本費：年間368千円のコスト増 ②人口移動調査1人あたりの記入時間：平均5分(6分→1分)の削減 ⇒年間対象者2万5千人×80%×5分÷1,666時間(約70日) ③有効調査票回収率：43%から80%へ向上(37%の増)</p>
------------------	---

<p>所属長からの推薦コメント</p> <p>移動人員のみならず、移動理由のデータが集計可能になったことで、政策立案の客観的なデータとして活用することが期待できる。複写式にすることにより、市民及び職員の労力が大幅に削減されたこと、また、回収率が向上したことで、集計データの確度があがったことなど、改善の効果は大きいものがある。</p> <p>複写化により、市民の負担を軽減するとともに回収率の大幅な向上が期待され、引いては政策決定の重要な資料となることから効果は非常に高い。</p> <p style="text-align: right;">【総合政策課 所属長氏名 重石 悟】 【市民課 所属長氏名 弥永 守義】</p>
--